



R5. 9. 29 大曲こども園

<http://www.ohmagari-hoikuen.jp/>

日中はまだ暑さが残っていますが、朝晩は涼しさを感じるようになってきました。これから秋の気配がどんどん感じられることと思いますが、子ども達と一緒に秋を見つけ、秋を楽しんでいきたいと思ひます。

過ぎしやすい秋は園外にたくさん出かけて、色々な経験をしていこうと思ひます。ご協力いただくことも多いかと思ひますが、よろしくお祈ひします。

10月の行事予定

- 2日(月) 衣替え・内科健診
 - 3日(火) 園外保育(つぼみ組)
 - 4日(水) 園外保育(たんぼぼ組)
 - 6日(金) 祖父母参観(もも組)
えいごレッスン
 - 11日(水) サッカー教室(ゆり組)
 - 14日(土) 作品展
 - 17日(火) 身体測定
 - 18日(水) 遠足(もも組)
 - 19日(木) 誕生会・集金日
 - 20日(金) 春日山遠足(ちゅうりっぷ・すみれ・ゆり組)
 - 24日(火) 避難訓練
 - 25日(水) 体育指導・歯科検診
 - 27日(金) えいごレッスン
布団持ち帰り
 - 31日(火) 虫歯予防教室(すみれ組)
- ※ゆり組は各小学校で就学時健診が行なわれます。日時をご確認ください。



11月の行事予定

- 6日(月) 消防署見学遠足(すみれ組)
- 9日(木) カレーパーティー
- 10日(金) えいごレッスン
- 13日(月) 身体測定
- 14日(火) 身体測定
交通安全教室(ゆり組)
- 15日(水) 体育指導
- 16日(木) 誕生会
- 17日(金) 園外保育(ゆり組)
- 20日(月) 集金日
- 22日(水) 発表会(つぼみ・たんぼぼ組)
- 24日(金) えいごレッスン
布団持ち帰り
- 27日(月) 個別懇談(つぼみ・たんぼぼ組)
- 28日(火) 避難訓練



～お知らせ～

令和6年4月の入園(転園)について

令和6年4月の入園申込を9月1日から10月31日まで受け付けています。

4月1日付けで転園をする場合も、この期間に申し込んでいただく必要がありますので、希望する転園先の園へ期日までに申込書を提出してください。

なお、転園先の園へ入園申込をした場合、現在入園している園に在園できる期間は、令和6年3月31日までとなります。

先日用紙を配布してありますので、6日(金)までに提出をお願いします。

【問い合わせ：幼児保育科保育係 025-520-5720 (直通)】

お 知 ら せ

★9月1日（金）に行いました、ゆり・すみれ組の尿検査は異常のあった方のみお知らせしましたので、早めの受診をお願いします。

★2日（月）より、冬園服・黄帽子になります。気温の変化が激しい時期なので、その日の天候や体調に合わせて衣服を調節してください。また、全クラス着替えを持ち帰ります。入れ替えをしていただくとともに、衣服の記名やサイズの確認もお願いします。

★14日（土）に作品展を行います。来園の際はスリッパを持参してください。9月15日（金）に配布しましたお知らせをご確認ください。この日は、延長保育はありませんので、ご了承ください。

★20日（金）は春日山遠足に出かけます。9月22日（金）に配布しましたお知らせをご確認ください。なお、つぼみ組、たんぽぽ組、もも組は通常の保育を行いますので、こども園で給食を食べます。

★31日（火）はすみれ組の親子を対象に『虫歯予防教室』を開催します。詳細は9月27日（木）に配布しましたご案内をご確認ください。歯の大切なお話がありますので是非参加のご協力をお願いいたします。



乳幼児期の予防接種について



乳幼児期で最も抵抗力が弱いのは生まれてすぐですが、お母さんのおなかの中で抗体をもっており、また、生まれてすぐに飲む初乳にお母さんの抗体がたっぷり含まれていることから、生後6か月頃までは病気にかかりにくくなっています。その後、風邪などにかかることで、白血球が病気をやっつける学習をしながら抗体ができます。

しかし、乳幼児期は抵抗力が弱いので、重症化して後遺症が残ったり、ときには死亡するような病気もあります。そのため、予防接種をして抵抗力をつけておくことが大切になります。また、予防接種を受けることで、自分が病気にかかるのを防ぐだけでなく、人に感染させてしまうことで保育園にその病気が蔓延するのを防ぎます。また、病気にかかったとしても、重症化を防げる場合もあります。適切な時期に必要な予防接種を受け、病気を未然に防ぎましょう。

予防接種で感染症を予防しよう！



多くの乳幼児が長時間過ごす保育園において、予防接種は非常に重要な感染症対策の1つです。そして、園児が予防接種を受けることには、「個人防衛」と「集団防衛」という二つの役割があります。

「個人防衛」・・・受けた本人が、感染症にかかりにくくなる。

「集団防衛」・・・同じ集団の園児が予防接種を受けることで、その集団の感染症の流行が予防できる。

（上越市保育園看護師会発行）